



器やカトラリーは作る日を分けていて、スプーンであれば一週間で約50本制作するそうです。



色をつけたり、模様をつけたり、真志さんオリジナルの発想が作品に込められます。

自宅 gallery(Uca)で  
月2回のオープンティ開催  
※事前予約制



Contact



皆野町

## 木工作品を 自然の中で制作しながら 日々の穏やかな時間を 家族4人で過ごしています。

うだまきし 由香さん  
卯田真志さん 実土くん  
黄之くん

夫婦で木工工房を営む卯田さん。自宅とアトリエを繋ぐ庭は子どもたちの遊び場で、虫を捕まったり木の实でおままごををしたり、日々家族の時間を満喫しています。「自分の住みたい環境は、自分で作るのが楽しいです」。

皆野町で木工作家として活躍している卯田真志さん。移住前は家具工房で働いていましたが、木工の細かい技術を学びたいという思いから仕事を辞め、1年間訓練校に通い基礎を勉強した後、独立して秩父地域へ移住することを決めました。秩父を選んだ理由を尋ねると、「東京のお店との付き合いもある中で、そこへ行きやすい距離で考えて、そんな時に知人から秩父に物件があるよと聞いて」と話す真志さん。秩父なら東京へのアクセスもいいため、仕事で不便を感じることもなく、何

より静かな環境がとても気に入ったそうです。  
その後、奥さんの由香さんと出会い、現在の皆野町の家で暮らし始めました。家の内装は水回り以外自分たちでDIYしており、居心地の良い生活空間に仕上がっています。また、真志さんの作品を販売するため、月2回自宅をお店として開いており、その際は遠方から子連れのお客さんが訪れることも。自宅を開放する理由には、息子の黄之くんの実土くんを、たくさんの子どもたちと遊ばせたいという思いが込められています。  
お父さん・お母さんが作品を見ている間は、家の中や庭を駆け巡って遊ぶ子どもたちだけの素敵な時間です。暮らしに必要なものがそろって、自然の中で子育てできる環境にとても満足しているそうです。



部屋を仕切る引き戸につけられた低い扉は、なんと船舶用。部屋の随所にこだわりが見られます。

お知らせ

卯田さん一家の暮らしと日常を人気YouTuber「古民家ひとり暮らし」さんに撮影いただきました。YouTubeの動画もぜひご覧ください！

